

「きょう、ひさしぶりにうらにわへ行って、こんなものがあるんだな、こんな、おもしろいものがあるんだなと思いました。」(児童の声から)

### 板橋区立三園小学校2年生

### 環境教育出前授業実践レポート

日本女子大学 4年・SOE 学生スタッフ 佐藤佳苗

曇一つない秋晴れの中、11月14日(金)板橋区立三園小学校にて生活科の出前授業を行いました。

「今日は、2年生の皆さんと一緒に楽しくお勉強したいと思います。」SOE 理事長、寺田茂先生の挨拶の後、授業が始まりました。

少し緊張している子ども達。「何をやるんだろうな。」

前半は、「コウモリとガ」というゲームです。あちこちで「バット!」「モス!」という声飛び交い、子ども達は夢中で体を動かしました。地球上の生き物はすべて、食べたり、食べられたりの関係の上で成り立っているのだということ。体を動かした後、子ども達はじつとその説明に聞き入ります。

…2ページへつづく…



子供たちが“うらには”と呼んでいるのは三園小学校の誇る葦山ビオトープ



「生き物はみんな食べるから、大きくなる。」食う、食われるの食物連鎖の話を語る佐藤佳苗さん

## 赤塚公園の自然かんさつとバーベキューの会

参加者レポート：須藤かおり【日本女子大学】



その落ち葉をよく似てみると、小さい種が、ケヤキの木は葉と共に種を落とし、風を使って種

11月16日(日)、赤塚公園にて秋の自然観察会とバーベキューの会を行いました。当日は雨が降ったり、止んだりと天気が不安定。参加者は一抹の不安を抱えながら、赤塚公園へ集合。講師に森林インストラクターの武部令さんをお迎えして、緑豊かな赤塚公園を散策しながら、様々なお話を聞くことができました。

赤塚公園には木が多く、種類が豊富。ケヤキやイチヨウなどの木はもちろん、白雲木やエゴノキなどの初めて聞いた木も多くあります。バーベキュー広場を出発した私たちは、広場にあるケヤキの木を観察。この時期はケヤキの木の下には葉っぱがたくさん落ちていま

…3ページへつづく…



学校中のいろんな所から  
子供たちの見“つけた～”の元気な声

後半は授業の山場、「フィールドパターン」です。自然の中から、○、□、W、Y、☆型のもの…等を探すゲーム。「あったー。丸い形してるー!」「先生。これ何て言うの?」普段何気なく見ている校庭から、ピオトープから、子ども達は予想以上に色々な形を見つけ出してくれました。その結果、全体シェアリングは大変有意義なものとなりました。

児童「今日、久しぶりにうらにわへ行って、普段気が付かなかつたけれどこんなものがあるんだな、こんな、おもしろいものがあるんだなと思いました。」

児童「知らない実とか、きいろい葉っぱとか、見えないところにいろいろなものがあってよかった。見つられてよかったです。」

児童「コウモリとガのゲームで、コウモリが超音波を出してどうやってガをつかまえるかがわかった。」

担任の先生「こんなに集中して探すとはびっくりした。」「きちんとテーマを持って活動するといいとわかった。教師が発見があった。」「こんなに子どもたちは自然に関心が向くんだなーとわかった。」



最後の合同発表、熱心にシェアリングする2年生

たくさんのワウダーを見つける子ども達、それを見て感動している先生方を拝見して思う。より多くの花の名前を知っていることは目に見えて素晴らしいことですが、自然の形の面白さ・美しいものを美しいと感じる感性もまた、目には見

えない力だけれど、素晴らしいことだなあと。

一つの木の実から世界を見ること。それを、学びあう仲間と一緒に共有すること。数限りないセンスオブワウダーを、子ども達の心に育みたいと思うばかりでした。

#### ●学生スタッフの感想●

今回初めて授業に参加して始まるまでは緊張して不安でしたが、子ども達と授業を通して触れ合ってみてすごく楽しかった。

フィールドパターンは、授業前に自分自身がやって私は始めから頭にあるものを探そうとするし、難しい形は始めから諦めていることに子ども達の姿を見て気付かされた。子ども達は、見たものをありのままに受けとめていた。フィールドパターン以外のものでも「この葉っぱは漢字の山の字に似ています」と私だったら思いつかないような発想もしていて子ども達の純粋さや発想力のすごさに驚かされた。

私もこれからもっと子ども達と一緒に自然と触れ合いながら、自分は子ども達のように考えたりできないな—と思うんじゃないかと一緒に子ども達から刺激をもらいながら自分の感性も伸ばしていきたいと思った。(日本女子大学・桑原奈美)

今回初めて小学校での授業に参加しました。たくさん経験した中で一番思ったことは、小学校2年生の感受性でした。「もみじの葉っぱは何の形に見えるかな」と質問して子ども達が「ほしがた」と答えたとき、内心驚き、私には絶対に見えないなと思いました。私たちはどうしてもほしがたのそのままの形をイメージしてしまうけど、子ども達のはもみじの尖っているところを、ほしがたの尖っているところに重ねているその視点に驚きました。また、四つ葉のクローバーを「ほしがた」と自信満々に言っていたりして、子どもの頭の柔らかさ、視点、感受性はすごいと思いました。私たちも小学校低学年の頃はそのような



寺田理事長と今回参加した学生スタッフです

感受性を持っていたのにいつの間にか失っていったのだらうと思いました。

また、コウモリとガでは壁をしている子ども達を飽きさせないようにすることが難しかったです。時間配分や子どもをどうすれば飽きさせないでやるか考えさせられたので、いい勉強になったと思いました。このゲームの中から、私たちが伝えようとした「自然界の食う食われるの関係」(食物連鎖)を理解してくれたことは、とてもうれしかったです。

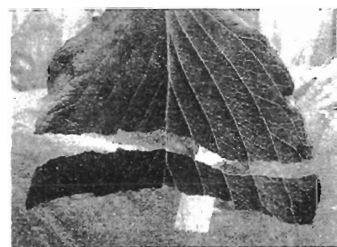
今回の経験を生かして、次の授業では出来なかったことができるように頑張っていきたいです。(池田朱里)

SOEは環境教育授業を学生と協働で計画実施しています。



## 赤塚公園の自然かんざつとバーベキューの会 (1 ページからのつづき)

を飛ばすそうです。ケヤキの木はよく見かけるけれど、落ち葉に種が付いていたなんて…ケヤキの子孫を残そうとする知恵のようなものを感じました。次に立ち止ったのは、タテ模様の幹の木。檜の木のようにだけれど少し違うその木は、おヒツなどに



使用されるサワラの木。檜の木は乾燥した場所を好むけれど、サワラの木は湿気の多いところに生えています。実は雨のため少ししほんでいましたが、晴れた日にはサッカーボールのような実をつけています。



楽しくて感動する武部さんのお話

一行は歩道橋を渡り、道の反対側に移動して一番に目についたのはイチヨウの木。黄葉がとても綺麗な大きい木でした。東京都の木として知られ、街路樹としてよく見かけるこの木、名前の由来を皆さんは知っていましたか？イチヨウとは中国語でアヒルの足という意味だそうです。そういえば、アヒルの足によく似ている気がしますね。イチヨウにまつわるお話の中で参加者の心に残った言葉があります。それは「木は無駄使いしない」です。イチヨウの木は葉を落とす前に葉の葉緑素を溶かして枝から幹へと送り、蓄えているそうです。そして、葉緑素を無

駄にせず、冬を越し春になり新たな葉が出る時に葉緑素を再利用するのだそうです。私たち人間が排出した二酸化炭素を吸収し、私たちが生きていくのに必要としている酸素を作っている木がこんなにエコだとは知りませんでした。色々なものを無駄に使いがちな私たちにとって、とても考えさせられる言葉でした。

その後はユリの木の意外な名前の由来や、どんぐりの帽子は実はオムツだった！というとても興味深いお話がありました。また、葉の表面がザラザラしていて昔はやすりとして使っていたムクノキや葉の中に卵が産みつけてある葉を観察するなど、貴重な時間を過ごすことができました。

楽しい観察会の時間があっという間に終わり、講師の武部さんとお別れをして、みんなの待ちに待ったバーベキュー！お天道様が味方をしてくれたおかげなのか、心配だった雨も止んで大きなケヤキの木の下で早速バーベキュー。前日夜遅くまでバーベキュー用の野菜を切ってくれた人に感謝しつつ、おいしい焼きそばをいただきました。食べながら、SOEのメンバーの方と様々な話もでき、とても有意義な時間を過ごすことができました。今回の観察会では私たちの生活について考えさせられたり、木についての見方が少し変わったような気がしました。



赤塚公園のかんさつ会、バーベキューも堪能した参加者

### ● S.O.E. 活動予定 (2008年12月)

日	曜	内 容
1	月	SOE ワークショップ 「トーフ作り授業プログラム体験実践」
3	水	環境教育プログラム準備作業
4	木	板橋区立板橋第七小4年全「私たちの板七産 トーフを作ろう」SOE 授業予定
5	金	環境教育全国大会参加 於金沢小
7	日	SOE 12月号 ニュース発行作業
9	火	板橋区家庭教育講座 講師 寺田「子どもに与えるたからもの 1」
11	木	板橋区立板橋第六小 環境教育授業打ち合わせ
12	金	板橋区立板橋第七小2年全「秋の自然と楽しく遊ぼう」SOE 授業予定
14	日	まちの環境なんでも発表会 エコポリスセンター
16	火	板橋区家庭教育講座 講師 寺田「子どもに与えるたからもの 2」
18	木	板橋区立板橋第六小5年全「食べ物はどこからフードマイレージを学ぶ」SOE 授業予定 板橋区環境教育プログラム部会出席
19	金	板橋区立緑小 5年全「食べ物はどこからフードマイレージを学ぶ」SOE 授業予定
22	月	SOE 学生が 全国学生エコ活動コンクール参加発表

## 新年・荒川&浮間公園で鳥の初見会 1月4日(日)お知らせ

共 催：いたばし野鳥クラブ、板橋水辺を楽しむ会、センスオブアース、北区水辺クラブ  
集 合：都立浮間公園展望場( JR埼京線浮間舟渡駅前) 午前10時  
交 通：JR赤羽駅より電車で6分、池袋駅より11分、三田線高島平駅よりバスで20分  
東上線常盤台駅よりバスで25分(三田線西台駅経由)  
持ち物：弁当、温かい飲み物、双眼鏡、図鑑、防寒具など、その他

浮間公園では、この冬、アトリがサンクチャリー脇の水辺で見られ、ウソも混じっていました。新年4日にも見られれば、うれしいのですが…。池では、カイツブリ、バン、オオバンが見られ、カモ類もキンクロハジロ、ハシビロガモなど6種類ほどが浮いています。サギ類も、アオサギ、コイサギなどが、サンクチャリーで悠然とたたずんでいますし、葉陰で隠れているカワセミさんにも、挨拶をいただきたいと思います。

荒川に出るとホオジロ類、ツグミ類が歓迎してくれるでしょう。赤いベニマシコも生物生態園で、見られるでしょうか、もちろん猛禽類も、オオタカ、ノスリ、チョウゲンボウが見られればうれしいのですが…。それから草地広場でこの冬も姿を見せているアリスイはどうでしょうか…。午後2時頃には現地で解散します。

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-8 (〒174-0083) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6053  
e-mail: info@npo-soe.jp url: www.npo-soe.jp